

環境レビュー結果

- (1) 照会番号
14-059
- (2) プロジェクト名
鉄製品製造工場建設
- (3) 実施場所
インドネシア 西ジャワ州
- (4) プロジェクト概要
棒鋼・線材製造工場の建設
- (5) カテゴリ分類
カテゴリ B
- (6) カテゴリ分類の根拠
環境ガイドラインに示される鉄鋼セクターに該当するが、環境への負の影響が重大でないと判断されるため。
- (7) 環境許認可
インドネシアの法制度上、当プロジェクトは環境影響評価書は必要とされない。代わりに、UKL(Upaya Pengelolaan Lingkungan, Environment Management Effort)と UPL(Upaya Pemantauan Lingkungan, Environment Monitoring Effort)が作成された。2014 年 5 月 23 日に UKL と UPL が Bekasi 県環境管理局に提出され、2014 年 9 月 18 日に許可証が発行された。
- (8) 汚染対策
大気、水質、騒音は、現地国基準及び国際基準を満たすことが見込まれている。汚染を防止するための適切な手段が取られていると判断される。
- (9) 自然環境面
本プロジェクトは既存の工業団地内で実施される。近隣に自然保護区や貴重種の生息地域は存在しない。

(10) 社会配慮面

本プロジェクトは既存の工業団地内で実施される。住民移転は発生せず、近隣に文化遺産は存在しない。

(11) 適用国際基準

World Bank Safeguard Policies

(12) その他（モニタリング等）

大気、水質、騒音に関するモニタリングが実施され、環境当局に提出される予定である。

以 上

質問事項

質問1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

プロジェクトサイトの住所：Kota Deltamas Kawasan Industri GIIIC, Block CB No. 2, Cikarang Pusat, Bekasi Indonesia

質問2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

2015年10月稼働開始を目指し、ブカシ県に在る GIIIC 工業団地にて四輪自動車部品向け線材二次加工製品の製造工場を新設する。

質問3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既の実施しているものですか？既の実施しているものの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか？

☒ 新規 ☐ 既往(苦情等あり) ☐ 既往(苦情等なし) ☐ その他()

質問4. プロジェクトに関して、環境影響評価(EIA、EIS等)はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか？

☐ 要(実施済) ☐ 要(実施中・計画中) ☒ 不要
☐ その他()

質問5. 環境影響評価を既の実施されている場合、環境影響評価はプロジェクトを実施する国の環境影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか？既に承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

☐ 承認済み(附帯条件なし) ☐ 承認済み(附帯条件あり) ☐ 審査中
☐ その他()

(承認年月: 承認機関:)

質問6. 環境影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか？

☒ 取得済み ☐ 取得必要だが未取得 ☐ 取得不要 ☐ その他(取得中)

(許認可名: UKL(環境管理方法 = Upaya Pengelolaan Lingkungan) UPL(環境監視方法 = Upaya Pemantauan Lingkungan))

質問7. 現時点でプロジェクトを特定できない案件(例: 特定プロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース、承諾時にプロジェクトを特定できないツーステップローン等)ですか？

(Yes / No)

Yesの場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

Noの場合、質問8以下にお答え下さい。

質問 1 2. 環境影響が軽微なもしくは悪化が予見されないプロジェクト（例：既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得）に該当しますか？

(Yes / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

質問 1 3. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Yes / No)

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 14 にお答え下さい。

No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- ☐ (1) 鉱山
- ☐ (2) 石油・天然ガス開発
- ☐ (3) パイプライン
- ☐ (4) 鉄鋼業（大型炉を含むもの）
- ☐ (5) 非鉄金属 製錬
- ☐ (6) 石油化学（原料製造。コンビナートを含む）
- ☐ (7) 石油精製
- ☐ (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- ☐ (9) 紙、パルプ
- ☐ (10) 有害・有毒物質製造・輸送（国際条約等に規定されているもの）
- ☐ (11) 火力発電
- ☐ (12) 原子力発電
- ☐ (13) 水力発電、ダム、貯水池
- ☐ (14) 送变电・配電（大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの）
- ☐ (15) 道路、鉄道、橋梁
- ☐ (16) 空港
- ☐ (17) 港湾
- ☐ (18) 下水・廃水処理（影響を及ぼしやすい 特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの）
- ☐ (19) 廃棄物処理・処分
- ☐ (20) 農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの）
- ☐ (21) 林業、植林
- ☐ (22) 観光（ホテル建設等）

質問 1 4. プロジェクトの規模（概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等）について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

< プロジェクトの規模(概要) >

土地 : 31,800 m² (GIIIC 工業団地内) 建屋 : 11,000 m²

設備 : 酸洗設備 (1 ライン)、水処理設備 1 基、熱処理炉 1 基、伸線機 3 基、その他付帯設備

生産開始 : 2015 年 10 月 (予定) 生産品目 : 冷間圧造用鋼線の製造・販売

従業員 : 約 100 名 (予定) 生産能力 : 2015 年立上げ当初 1,500MT/月 2018 年以降 4,000MT/月